

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No.
67

柳澤隊員、秋元隊員は平成31年3月末をもって協力隊活動期間が満了となります。お二人には3年間にわたり地域活性化のための、さまざまな活動に取り組んでいただきました。ありがとうございました。

自分が会社員として身に付けてきたことは、地域で活かすことができるところだろうか、との思いを持って、笠間市の地域おこし協力隊の活動を始めました。笠間のワインや、椎茸のブランドインク、栗焼酎のプロモーションイベント、栗畑の新しい収入源となる可能性を考えて、栗の蜂蜜採集のための養蜂、イベントのお手伝いなど、取り組ませていただいたさまざまなことは、本当によい経験であり、勉強になりました。思った通り、3年間は短く答えが出たわけではありませんが、いろいろな人との出会い

これまでの活動を振り返ると、笠間稲荷門前通りの活性化団体「笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会（かさまち考）」での活動が最も印象に残っています。

門前通りの活性化のため、商店主などのメンバーと年に20回以上の話し合いを重ねつつ、平成29年と30年は2年連続で県の商店街活性化コンペ事業にチャレンジし、見事入賞！

200名近くのお客様が参加した野外映画祭や、菊あかりイベントとコラボし、石畳の通りへ光の演出をプロデュースするなど、夜の賑わい創出のための新しい事業を行うと

自分が会社員として身に付けてきたことは、地域で活かすことができるところだろうか、との思いを持って、笠間市の地域おこし協力隊の活動を始めました。笠間のワインや、椎茸のブランドインク、栗焼酎のプロモーションイベント、栗畑の新しい収入源となる可能性を考えて、栗の蜂蜜採集のための養蜂、イベントのお手伝いなど、取り組ませていただいたさまざまなことは、本当によい経験であり、勉強になりました。思った通り、3年間は短く答えが出たわけではありませんが、いろいろな人との出会い



かさまち考で知恵を出し、汗をかけた充実感

あきもと 秋元 健一 (41歳)
東京都から移住

多くの出会いと貴重な体験に多謝

やなぎさわ あきら 柳澤 明 (60歳)
埼玉県から移住

もに、台湾人観光客の来訪に備え、台湾の文化や言葉を学ぶ「台湾おもてなし勉強会」を商店主向けに開催するなどさまざまな活動にも取り組みました。

地域の方々と一緒に知恵を出しあい、汗をかけた活動を通し、門前通りの賑わいづくりに貢献できたことをとても嬉しく感じています。

3年間、笠間でお世話になった皆さんには感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

があり、相談に乗ってもらったり、声をかけていただくことも増えてきました。

協力隊活動終了後も、今、何かとお世話になっている市の農業公社や、協力隊OBが運営しているカフェナナイロに関わりながら、笠間で暮らす予定です。引き続き、よろしくお願いします。



台湾文化勉強会



笠間ワインの丘の整備

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブック
もご覧ください

ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
Facebook▶<http://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】
まちづくり推進課（内線538）